

【 15の REAL 】

「池中15の REAL」で伝えられた大人の思いとそれを感じた3年生の思い

6月25日、3年生を対象に「池中15の REAL」が行われました。
看護師、自営業、スポーツ指導員、保育士など社会で生き生きと活躍している15名の大人を招き、「働く」とは、「やりがい」とは、「挑戦する」とは、一体どんなことなのか。そして、15歳の時、何を思っていたのかなど、さまざまなお話をさせていただきました。

生徒は事前に配られた講師プロフィールの中から3名の方を選び、20分間の座談会形式で話を聞きましたが、聞くだけでなく質問をするなど、今後の進学や将来に向けて考えを深めていました。



3年生の感想を紹介します

- ・人生の分かれ道はそれぞれみんなあって、そこでどう頑張るかが大事だと思った。
- ・コミュニケーションを取ること、笑顔が大切と言っていた。自分の気持ちを素直に言える人、信頼される人になりたいと思った。
- ・3人の話から15歳の時は今の仕事は何をするかさえよく分かっていないのだと思った。だから自分の気持ちが楽になって、少しだけ学校生活に余裕が持てるようになった。
- ・人生は点じゃなく線と聞き、その日の選択が未来の自分を作っていることを知った。高校を選ぶことより、その日に宿題をするかしないかのほんの小さなことが将来に繋がる。小さくても少しでも良い選択をし、夢が叶うように後悔しないように努力していきたい。
- ・言われたことをやるのではなく自分で考えて動く事を大切にしたい。職業は好きか嫌い、向いているか向いていないかで決めているそうなので、好きという気持ちを持ち続け夢に向かって進んでいけば、やりがいを感じる仕事に就けるのだと実感できた。
- ・今の夢がゴールではない。やりたいことが変わってもやってきたことは無駄にならないし、失敗してもいい経験になる。とにかく夢を持って走り続けることが大事。
- ・今日からは未来や過去の自分を作るために、いい行動や仲間のためになる行動をしたい。
- ・「自分の目標と他人の目標を比べない」自分の人生だから自分で決めることが大切。反対意見があっても全て自分の事なので「やり方よりあり方」の言葉を大切に進路選択したい。
- ・職に就いてからが本当の始まり。資格取得や高校進学がゴールじゃない。「学ぶことは人生の最後まで続いていく。」という言葉に大人ってすごいと思った。今の自分にはそこまで明確に考えるのは難しいけれど、将来を考える中心になるところを確立させたい。
- ・「自分の感性を持ち相手の感性も考えて行動することは生きる上で大切。」という感性の話が心に残った。
- ・「人が生きる目的は幸せになるため」などの話から、新しい社会の見方を教えてくれた。
- ・夢はまだ見つけなくてもいいという話が印象に残り、まだ将来の夢はないが、今できること、頑張れる事はたくさんあるので、それを一生懸命頑張っていきたい。
- ・自分の結果が出ない時は、「今は根をはっている時だと思いこませればいい。今の人生を楽しんでほしい。」ということを教えてもらった。
- ・自分のなりたい職業とは違っても、勉強の大切さや感謝することの大切さ、自分の行動は自分に返ってくるということに気づかされた。恵まれた生活の一日一日に感謝し、世界の誰か一人でも幸せになることを祈って行動したい。